

第8回 理論と実践のハイブリッド・平田ゼミ

アクティブ・ラーニング型研修

主催 教育研修サークル 北の教育文化フェスティバル

自分を見直し、改善する2日間

変新を見通せなはいこれかからこの時代表ににおい
て、がでしる社質の在り方を自らの創すに育む
とために直は資員・能力を子どのもたちの方育を
断います。直し、改善して自らの指導が求めら
いま平田ゼミは、参加者のだきさんにもレポ一
トに課題を深め、対話的なただこのとで、積極
考え日間の学べる、一流の講師である平田
2生と学べる、唯一無二の機会です。今の自
先分の教育実践・哲学をもう一歩先にすめ

【研修会日程】

1月13日（金）

受付 8:45～9:00

《第1講座》 9:00～11:00

理論と実践編

教材解釈と授業（氷上正「私の教材解釈」）

◆氷上正を扱い、教材解釈とは何かについて理論的に学びます。

《第2講座》 11:10～14:00
（※12:00～13:00昼食休憩）

教材解釈と授業構想へ
～「海雀」による授業構想～
◆「海雀」の教材解釈・授業構想レポ一
ト（小泉案）を検討し、自分の解釈を深
め、授業を構想します。

《第3講座》 14:10～16:45

表現演習

～2部合唱「花は咲く」～
◆楽譜を解釈しながら、参加者全員で合唱
を創り上げていきます。日常の指導だけ
ではなく、学芸会にも役立つ演習です。

連絡 16:45～17:00

14日（土）

受付 8:45～9:00

《第4講座》 9:00～10:30

「べてるの家」の実践と自問清掃

～「自分自身で、共に」の思想～

（テキスト『学校掃除と教師成長』『注意や指示の学校掃除』）
◆清掃指導に教師の教育観・指導方法につ
いて、新たな視点から再吟味します。

《第5講座》 10:40～12:00

教材解釈と授業構想

～「あとかくしの雪」による授業構想～

◆参加者全員が教材解釈レポートを持ち寄
り、解釈を深めます。そして、授業を構
想します。

《第6講座》 13:00～16:45

表現演習

～「海雀」劇化～
◆北原白秋「海雀」を全員で劇化してい
ます。教科だけでなく様々な行事など
でも役立つ演習です。

平田治先生



1953年生まれ。信州大学教育学部卒業後、36年間長野県小学教員。早期退職し、信州大学大学院教育学研究科に進学。修士（教育学）。現在は千葉経済大学短期大学部非常勤講師。研究テーマは、「学校清掃」「教

材解釈」「表現教育」。

文部省教員海外派遣団参加（アメリカ教育視察）、長野県教育委員会派遣内地留学（文科大学）、文部科学大臣優秀教員表彰。

著書として『子どもが輝く「魔法の掃除」・自問清掃のヒミツ』、『「魔法の掃除」13ヶ月・メッセージを語れる教師』（三五館）、『虐待された少年とともに出会って5年・教師がみつけたこと』（一莖書房）。論文として、『教員養成における「自問清掃」指導の意義と成果』『「自問清掃」と教師の成長—学校掃除の教師教育学的意義—』等。

所属学会：全国自問教育の会（理事）、日本教師学学会、日本教材学学会。

アマチュアコーラスの指揮者としても女声合唱団を指導し定期演奏会を開催。

申し込み詳細は裏面にございます